



福島県遊技業協同組合連合会
「福島県応急仮設住宅カラオケ歌合戦2013」事業



福島県遊技業協同組合連合会
理事長
禹日生さん

選考理由

社会貢献活動審査委員会
委員
野口昇氏



福島県遊技業協同組合連合会は、平成25年10月から11月にかけて、東日本大震災被災地復興支援事業の一環として、県内10カ所の応急仮設住宅で暮らす人々を対象に、カラオケ歌合戦を企画・実施された。10カ所での予選会を経て選ばれた20名の代表は、46歳から83歳まで。歌われた曲には、被災者のそれぞれの思いが込められていたようだ。また、決勝大会の様子はラジオ福島で放送された。大震災から3年余を経て、世間の関心が薄れかけ外部からの支援が細ってきている中で、仮設住宅で困難な生活を余儀なくされている方々を励まし、元気づけるこの事業の意義は極めて大きいと審査員全員が高く評価した。関係者の努力に敬意を表するものである。

コミュニティ再生に貢献する
カラオケ歌合戦の開催

仮設住宅住民の交流を主催者として支援

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から3年が経過したが、岩手、宮城、福島県では、いまだに仮設住宅での暮らしを余儀なくされていたり、日本の各地に避難したままの方々が数多くいる。なかでも福島県は、地震と津波に加え、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、被災者や避難者は先の見えない状況に置かれている。阪神大震災の例を見ても明らかのように、心のケアはこれからが正念場だし、なによりも崩壊の危機にある地域コミュニティの再生は急務といえるだろう。

その一助になればという思いで、2013年11月22日に郡山市のビッグパレットふくしまコンベンションホールで開催されたのが、「福島県応急仮設住宅カラオケ歌合戦2013」である。この大会を主催したのは、福島県遊技業協同組合連合会(以下、県遊連)であり、共催はrfcラジオ福島。仮設住宅入居者に希望や喜びを感じてもらうとともに、交流の機会を目的に開催された大会だが、前年の2012年に日本電動式遊技機工業協同組合、回胴式遊技機商業協同組合が特別協賛し、rfcラジオ福島が主催となって福島県飯坂温泉で開催されたものを、昨年、新たに県遊連が主催者として引き継ぐ形で実施された。

「一昨年の大会を見させていただき、出場者として歌う方々と、それを応援する仮設住宅の方々が一体となって盛り上がる様子に、大変、心を打たれました。会場で「来年もぜひ開催してもらいたい」という声を聞いたこともあり、昨年、主催者として引き継いでもらえないかとお話をいただいた時に、県遊連としても復興のお手伝いをすることは自分たちに課せられた責務であるとの思いから、主催を引き受けさせていただくことになりました。主催者として登壇した理事長が、感動して、来年もやりたいといった手前、次回もやらざるをえませんね」と、専務理事の齋藤昇さんは語る。



大会を告知するポスター



入賞者と大会関係者による記念撮影



家族の遺影を手に歌う出場者



仮設住宅から応援に駆けつけた人々で、会場は大いに盛り上がった

会場が一体となって盛り上がった決勝大会

カラオケ歌合戦は、まず、南相馬市、富岡町、楢葉町、大熊町、浪江町、双葉町などからの避難者が暮らす10カ所の仮設住宅で予選会を実施し、各2名が代表として選出された。なお、仮設住宅の選定は、申し込み先着順に加え、戸数や予選会実施スペースを考慮したうえで決定された。11月の決勝大会では、代表の20名が、それぞれの思いを胸にカラオケで自慢の歌を披露。なかには亡くなった家族の遺影を抱え、熱唱する人もいた。歌い終わった後には、当日の司会を担ったrfcラジオ福島の菅原美智子アナウンサーから、震災当時の思い出や選曲の理由などをたずねるインタビューがあった。それぞれの答えに、アナウンサー自身が目を真っ赤にし、言葉に詰まる場面もあり、会場に詰めかけた人々とともに、悲しみを新たにしていた。

コミュニティの再生に役立てるとい大会の目的を象徴していたのが、仮設住宅から応援に駆けつけた人々である。事前に用意してきたノボリ、うちわ、横断幕などを掲げ、大きな声を張り上げ、自分たちの代表である出場者を応援していた。同じ仮設住宅に暮らしているとはいえ、普段は交流の機会に限られるなか、ひとつの目的を共有する絶好の機会となった。出場者のなかから優勝、準優勝、第3位が選ばれたほか、応援団にも、応援団賞や仮設住宅賞が贈られた。なお、審査には、当日ミニコンサートを行った演歌歌手の紅晴美さん、rfcラジオ福島編成局専任局長の大和田新さんのほか、県遊連の禹理事長と野田浩副理事長が加わった。歌が絆を作り出し、明日への希望をもたらすものであることを、会場に詰めかけた全員が再認識したのではないだろうか。是非、継続してほしい事業である。

